

STATCOM（スタットコム）設置の概要

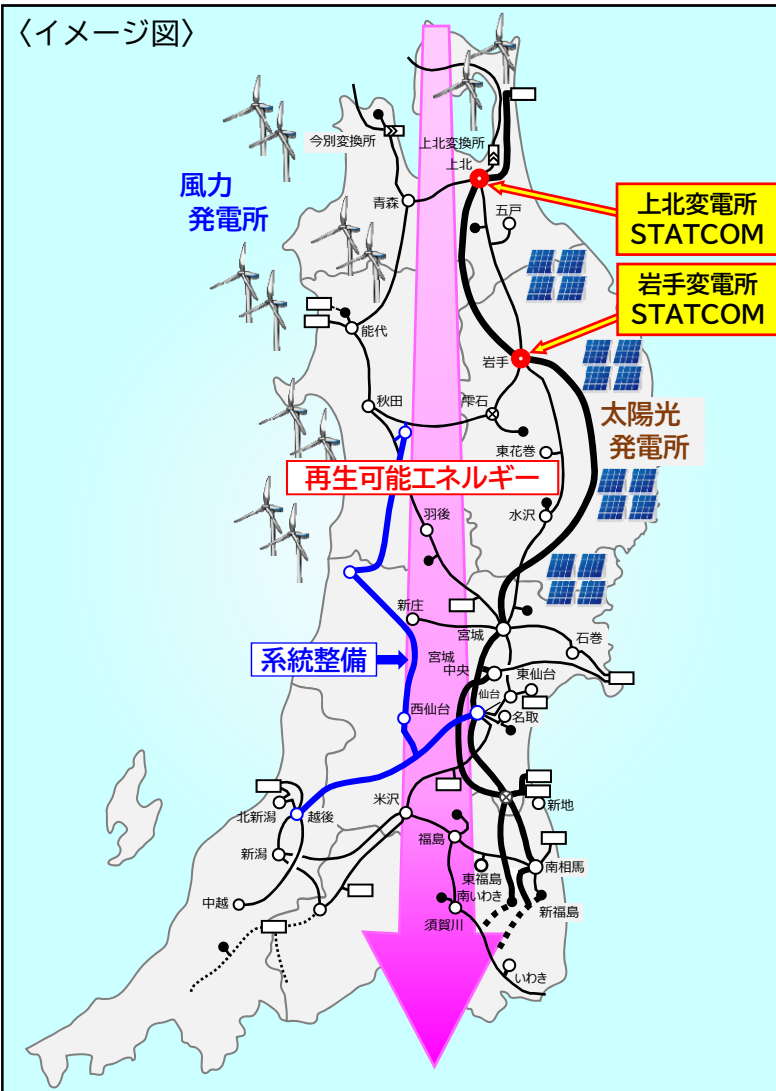
STATCOM設置プロジェクト

- 東北北部は風力発電などの資源が豊富ですが、その電気を消費するには需要の多い南の地域に送る必要があります。
- 送電線を整備することで、これまで以上に再生可能エネルギーを取り入れ、需要の多い地域に電気を送れるようになります。
- しかし、大きな電気を送ることで、万が一、雷などで送電線に事故が起きた時に、電気の流れ方が大きく変化して、電気が不安定となります。
- その不安定な状態が継続すると、最悪、大規模な停電となる可能性があります。
- そのため当社は、電気を安定して送り続けられるよう、上北変電所と岩手変電所に世界最大級の設備容量となる「STATCOM」を設置することにしました。

※当社調べ（2025年10月）

[もっと詳しい説明「STATCOM（スタットコム）の必要性」はこちらへ](#)

〈イメージ図〉



STATCOM (スタットコム) 設置の概要

STATCOMの特徴

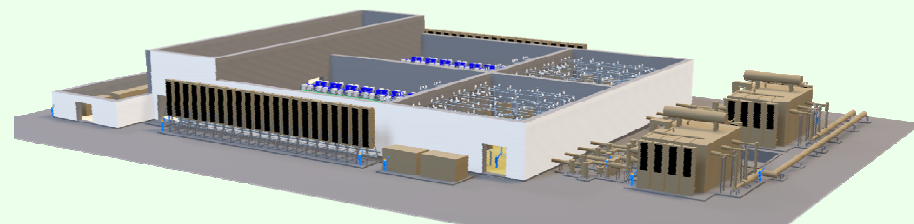
STATCOM

(スタティック・シンクロナス・カンペンセイター)

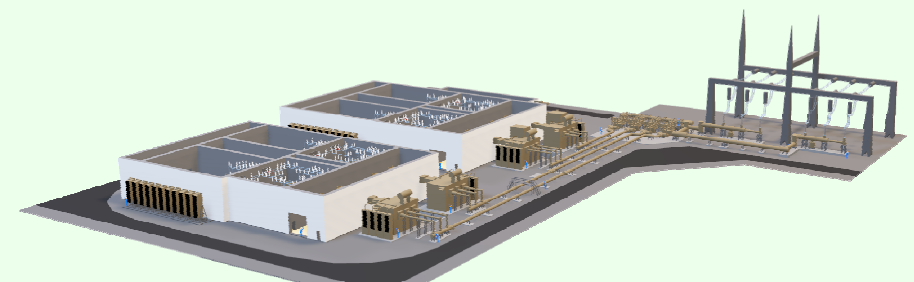
STATic Synchronous **COM**pensator

〔自励式静止型無効電力補償装置〕

- STATCOMは、パワーエレクトロニクス技術を用いた自励式変換器の高速スイッチングで無効電力を自在に出力することが可能です。
- これにより、電力系統の異常を素早く検知し、STATCOMが無効電力の出力を高速かつ精密に制御することで系統電圧を適正に保ち大規模停電を防ぐことができます。



設置場所	上北変電所 (青森県上北郡七戸町)
設備容量	±800MVA
メーカー	株式会社東芝



設置場所	岩手変電所 (岩手県盛岡市)
設備容量	±700MVA
メーカー	三菱電機株式会社